

## 式辞

卒業生並びに修了生の皆さん、卒業おめでとうございます。本日、本科生 290 名（品川キャンパス 140 名、荒川キャンパス 150 名）が卒業し、専攻科生 30 名（品川キャンパス 18 名、荒川キャンパス 12 名）が修了する運びとなりました。無事全ての課程を修了されたことに深く敬意を表するとともに、篤くお慶びを申し上げます。併せて、今日の卒業式を迎えるまで皆さんを支えてこられたご家族や関係者の皆様にも、心からお喜び申し上げます。

今年度は新型コロナウイルス感染症対策のために、従来の卒業式・修了式と一部異なり密集を避け時間を短縮しキャンパス毎の実施となりました。皆さんも残念な思いを抱いていることと思いますがどうかご理解ください。

さて皆さんが本学で過ごした 5 年間は、日本にとっても世界にとっても稀にみる大きな変動の時代でした。科学技術の分野だけを取り上げてみても、AI (Artificial Intelligence)、IoT (Internet of Things)、5G (5th Generation) などの急激な技術の進展により Society5.0 の実現に向け、産業や社会が大きく変わり、企業の興廃

が起きています。今日の優良企業が、明日の優良企業とは限りません。更に、エネルギー問題に関しては、世界的な気候変動を止めるため、日本は二酸化炭素などの温暖化ガスの排出を 2050 年に実質ゼロにする目標を掲げました。脱炭素社会を推進するクリーンエネルギーの追求は日本だけでなく国際的な流れになっています。

一方、令和 2 年からは新型コロナウイルスが猛威を振るっています。学校として始めて遠隔授業や分散登校を実施しました。学習環境が悪い状況でも皆さんは勉学に励み卒業あるいは修了を勝ち得ました。

人類の歴史を振り返れば、集団生活により、感染症が発生し、人類だけでなく動物にも多大な影響を与え、感染症が人類の衰退の大きな転機となっています。14 世紀のヨーロッパで猛威をふるったペストによって、当時のヨーロッパの人口の 3 分の 1 が命を落としたと言われています。今回の新型コロナウイルスによる感染症の流行は、今日でも感染症との戦いはまだ終わっていないことを改めて認識するとともに、グローバル化した社会では多方面に瞬時に甚大な影響を与えることも経験しました。

このように、21 世紀は、科学技術の飛躍的な進歩とパンデミック

のように予測ができないことが地球規模で瞬時に発生する時代になっています。

そのような時代にあって、技術者には何が求められるのでしょうか？それは一言でいえば「自律した技術者」ではないかと思えます。

「自律」(autonomy)についてですが、自ら理性的に考え、それに従って行動する能力です。流行しているから、また偉い先生の意見だからといった理由で行動した場合は「他律」(heteronomy)と呼ばれます。カントは、この自律の能力こそが価値の創造の根源であり、基本的な能力の一つに数えています。

多様性とグローバル化が進み、種々の要因が複雑に絡み合った状況では、指示通りに的確に仕事を進める以外に、試行錯誤しながら正解あるいは最適解を見つける能力も求められています。学生時代は、主に先生が教え、指導をしてくださいました。これからは一層「自律」が求められます。更に、今まで以上に積極的に対話することも必要です。技術の創生や真理の追究は決して一人ではできません。

今日、本校を羽ばたく皆さんには、私たちの社会が抱えている困難で複雑な課題を工学の知識を基に果敢に挑戦し、新しい時代を切

り拓く技術者になってもらいたいと思います。世界は、次代を担う皆さんの柔軟な発想と行動力を求めています。

本校はこれからも皆さんを応援していきます。是非、これからも種々の場面で本校を積極的に活用していただけることを願っています。

令和3年3月19日

東京都立産業技術高等専門学校

校長 渡辺 和人